

この一般質問の内容は、会議録(反訳文)に基づいて各議員が質問の一部をまとめ、本委員会が最終確認編集をしたものです。各議員の氏名横のQRコードからその議員の一般質問の動画がご覧いただけます。



西原まさもり 議員 喜納 昌盛

**問** ペルー共和国の西原町人会創立一〇〇周年記念事業への町の対応は。

総務部長 祝儀については、これまでと同じく現金で対応する。総務課長 三線とかの件は、管理、保管等十分対応できるかの心配もあり、会の運営資金として10万円を準備している。

◇町政全般について

**問** 第22回西原まつり、町制施行40周年記念と謳われているがその内容は。

総務部長 厳しい財政状況のため町制40周年に特化したプログラムは無いが、テーマを慶祝、記念として開催していく。

◇県単位化となった国保制度

**問** 昨年度より県単位化となった国保だが、構造的な問題だけでなく「前期高齢者財政調整制度」により沖縄県は全国より交付金がいかに少ない状況が続いている。町のひっ迫した財政状況に対して、県繰入金活用を要請することはできないか。

町長 特別交付金として赤字解消分に対する交付を受けており新たな繰入金事業としての要請は厳しい。

**問** 前期高齢者の加入割合の低い要因は、先の大戦による地上戦や収容所生活の影響がある。町の平成29年度一人当たり前期高齢者交付金額はいくらか。福祉保険課長 4万6,400



清 清 議員 与儀 清

◇火葬場建設の問題

**問** 本町は財政難である。しかも今しばらくは改善の見込みはなく、葬祭場を建設するにあたって、一番の問題はお金がないことである。しかしながら葬祭場はなくてもよい公共施設ではない。この世に「オギャー」と生を受けたからには、ほぼ例外なく

一度はお世話になる施設である。しかもその必要性は年々高くなり、今でも3日ほど待たされることを考えると悠長なことを言っている場合ではないと思う。ゆえに資金的に苦しいのであれば、民間の力による葬祭場建設を提言するものである。それでお聞きする。西原町例規によれば、火葬場を建設するにあたって、設置場所に関する条件が2つ、設置に関する条件が6つ。以上8点をクリアすれば民間でも葬祭場建設は可能だと理解してよいか。

**問** 個人番号カードを年内に全公務員に実質的な義務化を政府は計画しているが、町の対応は。又、二〇二二年三月には健康保険証として本格運用することだが、町民への対応は。総務部長 町の職員については、県市町村共済組合から申請書



伊計 裕子 議員

円となり、那覇市が5万円ということ、西原町が低いということになる。

◇幼児教育の無償化

**問** 県社会福祉施策・予算対策協議会が県に対して、幼保の給食無償化を市町村と連携し、県独自の施策として実施するよう要望したとある。町としても他

市町村と連携し、要望してはどうか。町長 他市町村の状況を見ながら、今後判断していきたい。給食費のみ施設が徴収の際、滞納が起こった時にどういう対応を考えているのか。こども課長 滞納が生じた場合については、担当課が助言等を行いながら、手続きの方法や文書の作り方等の話し合いなど意見交換を行っている。各園については、口座引き落としと徴収袋で対応をと今取り組んでいる状況である。

が届いており各自がJ・L・Sに申請予定。厚生労働省はマイナンバーカードや保険証を用いたオンラインでの資格照会と高額医療費の限度額認定情報等を提供する為導入を進めており、取得促進に向け情報提供、担当部署の福祉保険課と町民課の連携強化していく。

◇

**問** 以前、町は県に対して伝統芸能会館及び空手道会館の誘致を進めたがMICE施設に取って代わった経緯がある。今、県は伝統芸能会館建設に向けた動きがあると聞いているが、サンライズ協議会で中城城跡整備計画の中に誘致できないか提起し

**問** 認可外保育施設において猶予期間の5年を待たずに準備を満たせるよう条例制定等の予定はあるか。福祉部長 既存の補助事業を

では地域住民の理解を得ることが大切となるため、許可条件を満たしたとしても、地域住民の理解が得られない場合は厳しいものと考えている。

**問** 今まで沖縄の火葬を担ってきたのは民間ですから、お金があつたら造っていい、ないんだつたらなくてもいい施設ではないと私は思っている。ぜひ誠意ある答弁を。生活環境安全課長 現在の町の条例上では、民間事業者が火葬場を営むことはできない。将来的にそういった民間事業者の活用を考えると、条例の見直しを含めて検討をする必要がある。

てはどうか。

町長 所管する文化観光スポーツ部の文化振興課への確認では国立劇場おきなを中心とする一帯を考えており、サンライズ推進協議会で提起できないか話し合ってみたい。

その他の質問項目  
○大型ヘリやオスプレイの西原町内での夜間飛行の実態を町は把握しているか。  
○プレミアム商品券の取り扱いの現状  
○町長3期目の最後の一年、公約を含めた施策の総点検と次期への考えは。

活用し基準を満たせるよう対応を行うっており、今後も改善を図っていく予定である。基準を満たしたかどうかの判断は、県が実施するため例規等の対応の予定はない。

その他の質問項目  
○介護保険制度  
○会計年度任用職員



◇園芸セミナーについて

**問** 産業観光課が毎月行っている「園芸セミナー」の参加状況と評判は。建設部長 平成26年6月から開催し、計31回開催している。参加延べ人数は626名。参加された多数の方々から好評をいただいている。

その他の質問項目  
○東部消防の出動件数について  
○プレミアム商品券の進捗状況  
○小橋川の問題について

この一般質問の内容は、会議録(反訳文)に基づいて各議員が質問の一部をまとめ、本委員会が最終確認編集をしたものです。各議員の氏名横のQRコードからその議員の一般質問の動画がご覧いただけます。